

2024年1月23日

## 「兼業・副業に関する動向調査 2022」を追加分析 副業実施者は本業の満足度が高く、キャリアへの関心が高い傾向

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村 吉弘、以下リクルート）は、兼業・副業に関する動向について、働く個人および企業人事担当者それぞれに調査を実施しました。本リリースでは、兼業・副業人材の動向をまとめました。以下、結果の概要をご報告いたします。調査期間は2023年1月21日～2023年1月22日です。

■データ集はこちら ([https://www.recruit.co.jp/newsroom/pressrelease/assets/20230411\\_hr\\_03.pdf](https://www.recruit.co.jp/newsroom/pressrelease/assets/20230411_hr_03.pdf))

### Executive summary

- 副業実施者の38.7%が本業に満足しており、本業・副業それぞれの経験が互いに好影響を与えている。
- 副業実施者は未実施者と比べて自身のキャリアに関する関心が高く、従業員のキャリア自律を育むことで副業の推進につながる。
- 副業の満足度が高い人は、「本業に副業の経験を還元できている」、「適切なアドバイスを提供してくれる支援者がいる」傾向。

解説者：株式会社リクルート 『サンカク』グループ責任者 古賀 敏幹（こが としき）



近年、副業制度を導入する企業や、副業を実施してみたいと答える個人が増加しており、副業への関心は高まっています。一方で副業実施中の人の推移を見ると、数年横ばいの状態が続いています。企業側も個人側も副業への関心が高まっている中で、実施率が伸び悩んでいるのはなぜでしょうか。一番大きな理由としては、副業希望者の増加に対して、副業求人が増加が追いついていないことが考えられますが、今回は

「兼業・副業に関する動向調査 2022」の結果の分析を行い、副業を実施する個人に着目し、副業実施者の特徴や副業の満足度別分析によって、副業実施につながるポイントを明らかにしました。

今回の分析では、副業実施者は非実施者と比較して、本業への満足度が高く、かつ、キャリアへの関心が高いことが分かりました。自社の社員の副業を推進したい企業にとっては、社員の満足度が高まるような業務の差配や職場づくり、社員のキャリアへの関心が高まるような職場でのコミュニケーションを実施することが成功の鍵となると言えるかもしれません。

また、副業実施者は本業の仕事内容と関係のない副業をしているケースが多く、自分のスキルを多方面に生かしていると言えます。本業の満足度が高いことから分かる通り、本業へ還元できている人が多く、副業から得られる経験や学びがよりキャリアへの強みにつながっていくのではないのでしょうか。

## 副業の実施状況

近年多様な働き方が注目されている中で、副業への関心が高まっています。多くの企業や個人が、副業の取り組みに着目しています。今回は、「兼業・副業に関する動向調査 2022」から、副業に関する現状を紹介します。

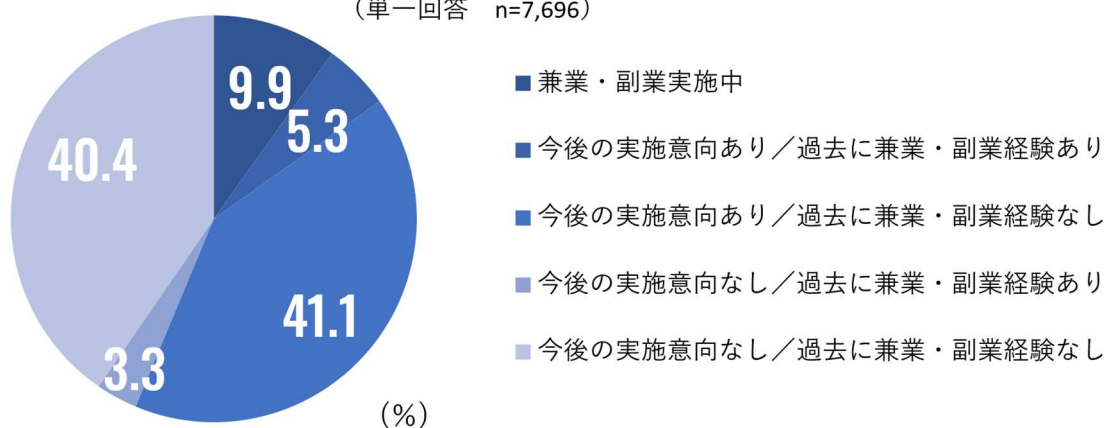
全体の副業実施率は9.9%となっており、過去三カ年ほぼ横ばいで推移しています。

また、副業を実施したことがない層の詳細を見ると、過去に副業の経験はないが実施意向があると回答した人は全体の41.1%を占めています。これは、副業に対する興味や関心が高まっている一方で、まだ具体的な一歩を踏み出せていない人が多いことを示しています。

それに対して、実際に副業を認める制度が自社にあると回答した人事担当者の割合は、51.8%であり、これは過去三カ年で見ると年々増加の傾向にあることが分かります。

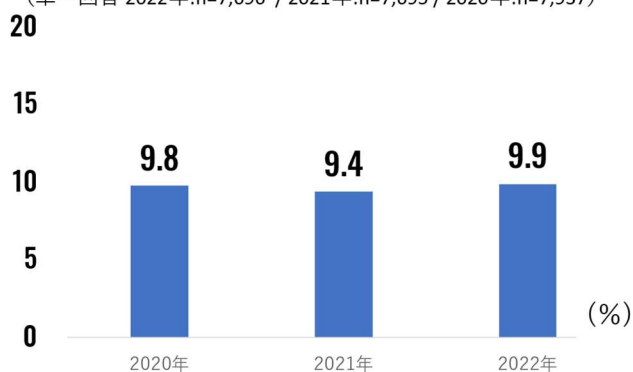
### 兼業・副業の実施状況

(単一回答 n=7,696)



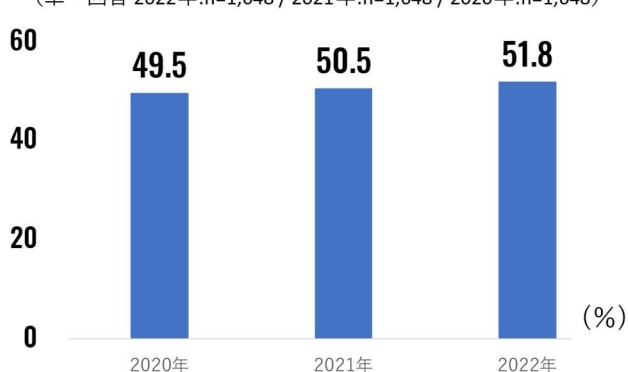
### 兼業・副業実施中の人の割合

(単一回答 2022年:n=7,696 / 2021年:n=7,695 / 2020年:n=7,937)



### 兼業・副業制度があると回答した人事担当者の割合

(単一回答 2022年:n=1,648 / 2021年:n=1,648 / 2020年:n=1,648)

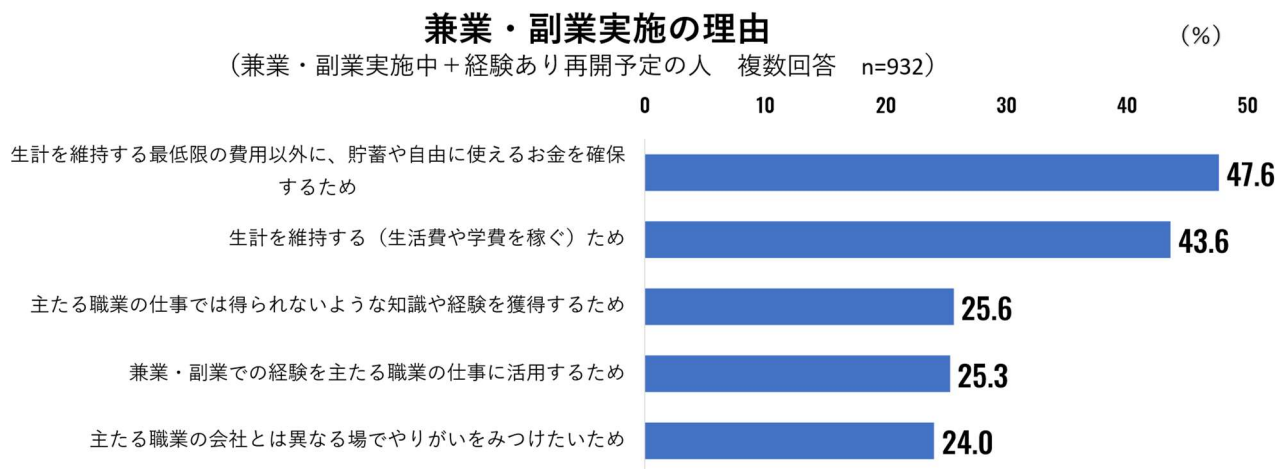


ではなぜ、副業解禁の企業が増加しているのに対して、副業実施率は横ばいの状態が続いているのでしょうか。

### 副業実施者の特徴「本業の満足度が高くキャリア自律している」

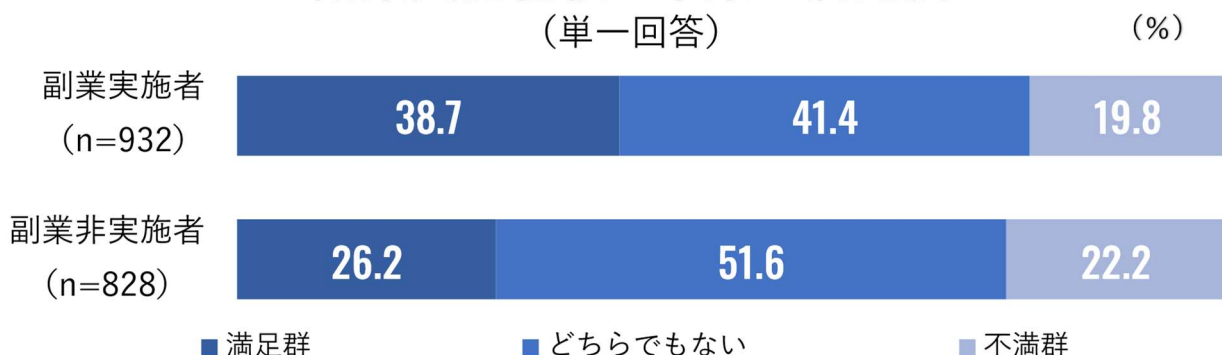
先ほどの課題の背景を探るために、まず副業実施とは切っても切れない関係にある本業について注目しました。副業実施の理由を見ると、金銭面での目的以外では「主たる職業の仕事では得られないような知識や経

験を獲得するため」「兼業・副業での経験を主たる職業の仕事に活用するため」が続きます。本業に良い影響を持ち帰りたいという背景が副業実施者にはあることが分かりました。



副業実施者は、この理由の通り、本業に良い影響を与えることができているのでしょうか。副業実施経験と本業の満足度の関係を見ると、副業実施者の方が本業への満足度が高いことが分かりました。本業と副業は別物で対立するものであるというわけではなく、副業実施によってその経験を本業の仕事に活用することができており、本業・副業それぞれの経験が、互いに好影響を与えていると言えます。

## 副業実施経験と本業の満足度

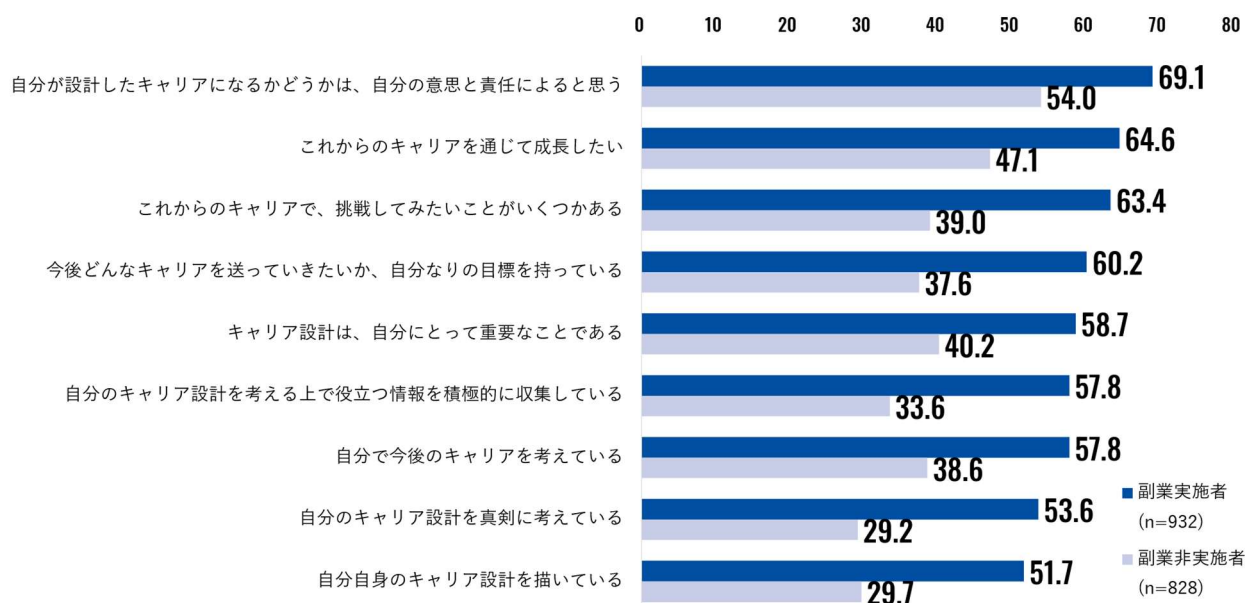


次に、キャリアについてどのように考えているか、副業実施者と非実施者で比較しました。副業実施者のキャリア観を見ると、副業非実施者と比べ自身のキャリアに対する関心が高いことが分かりました。自身のキャリアを検討する際にはさまざまな選択肢がありますが、その一つとして副業が選ばれていることが推測できます。実際に、副業実施中の人および副業の経験があり再開予定がある人の副業実施のきっかけは「すでに兼業・副業をしている人が身近にいた」(27.9%)に続き、「自分のキャリアを見つめ直した」(21.5%)という結果でした。副業を自分のキャリアの幅を広げるための選択肢として捉えていることが分かりました。

## 【副業実施経験別】キャリアへの考え方

(各項目ごとに単一回答)

(%)



※各項目：「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」の割合

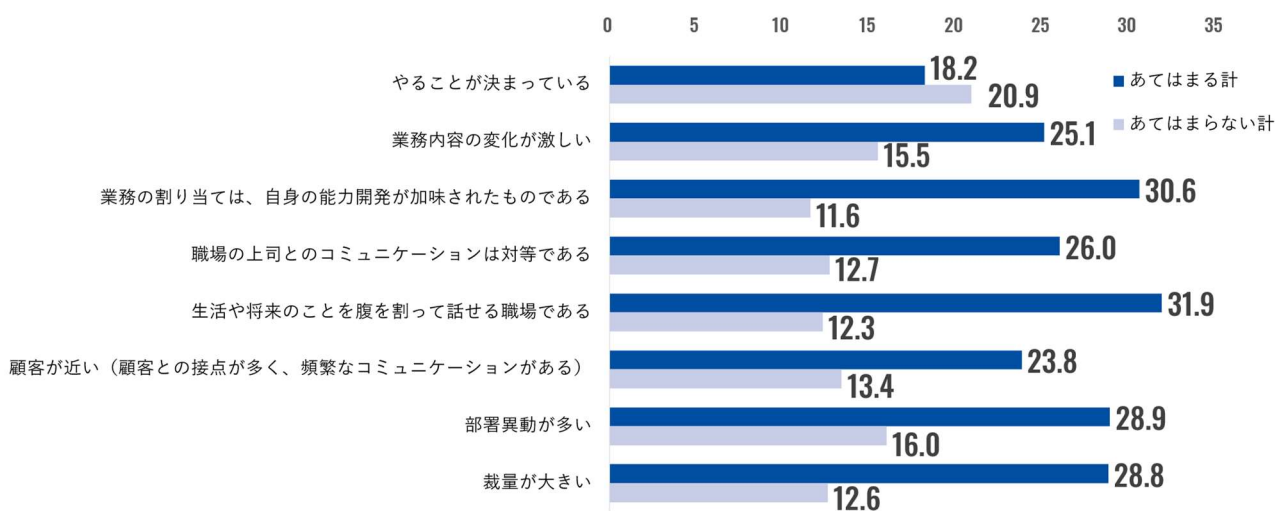
### キャリア自律のために企業ができること

キャリアへの関心を高めるために、企業が従業員に対して取り組むことができることを紹介します。「就業者のキャリア自律・キャリアオーナーシップに関する調査 2023」(2023年3月発表)では、就業者に職場の特徴を尋ねています。キャリア自律ができていると思う群が、あてはまると考えている職場の特徴を見ると、「業務の割り当ては、自身の能力開発が加味されたものである」や、「生活や将来のことを腹を割って話せる職場である」という選択肢に大きな差分が見られました。職場での対話を通し、自らのキャリアを明確にしていくというプロセスがキャリア自律を育み、その意向を考慮した業務の割り当てといった工夫が企業には求められており、そういった取り組みが個人のキャリアへの関心を高めることにつながります。

### 職場の特徴としてあてはまる割合

(キャリア自律できていると思う群 各項目ごとに単一回答 n=1,531)

(%)



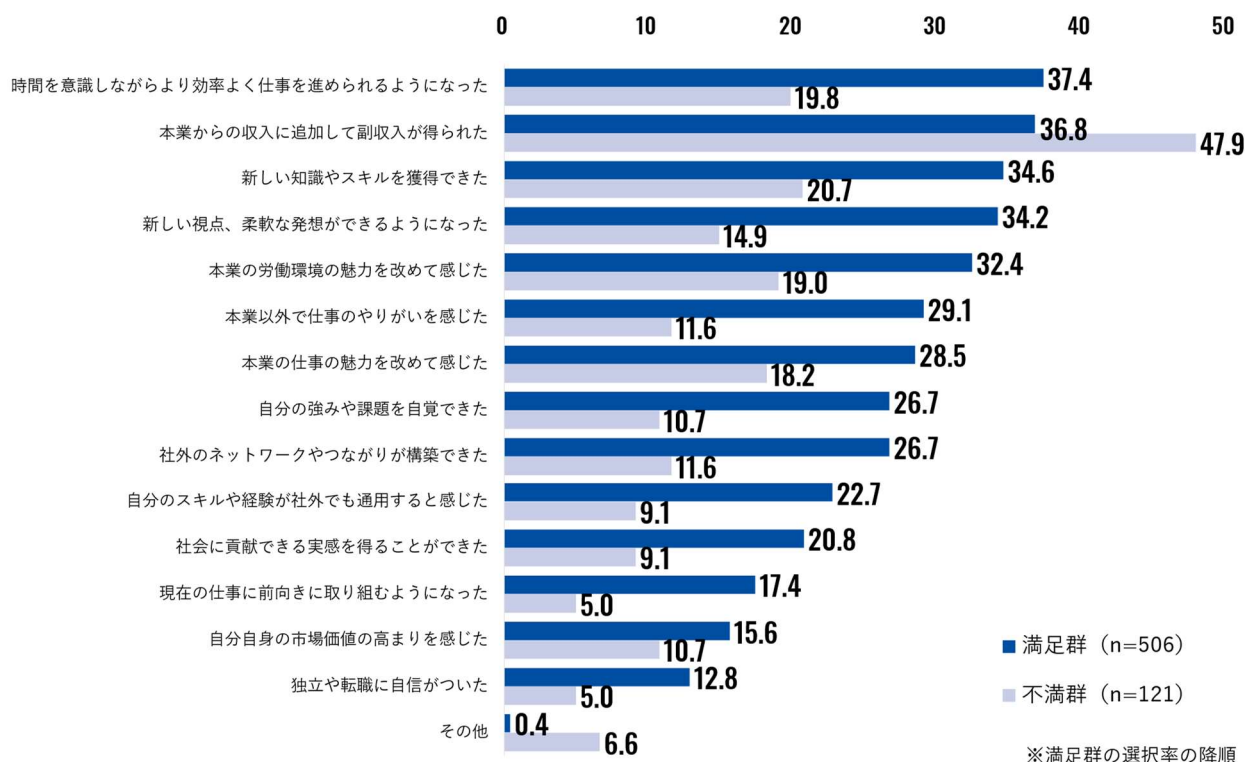
## 副業実施経験がある人の満足度別分析

本調査では、兼業・副業実施経験がある人に対して、兼業・副業の満足度を4項目（キャリア形成面・収入面・やりがい面・成長面）で聴取しています。これら4項目から、「副業満足度」の指標を作成し、その指標が高い群を満足群（n=506）、低い群を不満群（n=121）としました。満足群の割合は40.7%、不満群の割合は9.7%（どちらでもない群は49.6%）で、総じて副業実施経験がある人の満足度が高いことが分かります。

### 兼業・副業の効果実感

（副業実施経験がある人 複数回答）

（%）

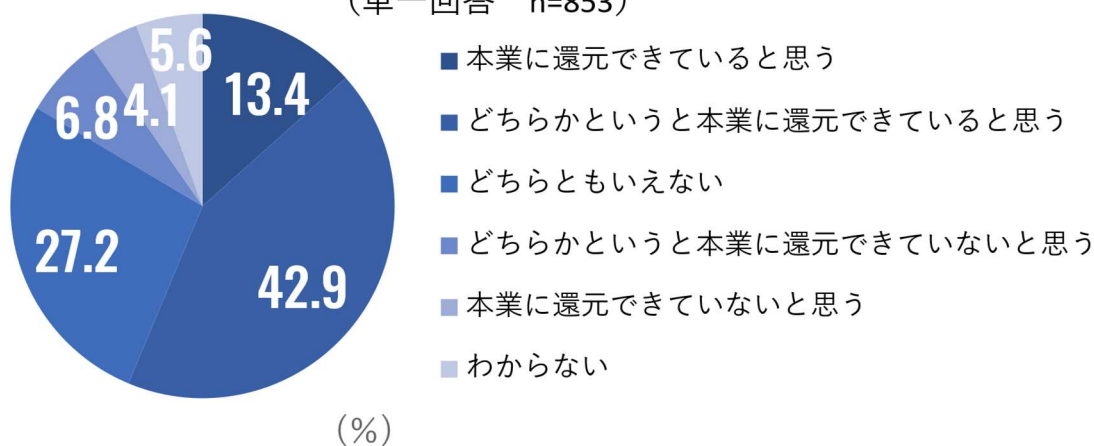


満足群の副業実施による効果を見ると、上位に挙がっているのは、「時間を意識しながらより効率よく仕事を進められるようになった」、「本業からの収入に追加して副収入が得られた」、「新しい知識やスキルを獲得できた」でした。これらの結果から、副業は単に収入を増やすだけでなく、自身の時間管理能力を向上させて本業への視点を新たにするなど、自身のスキル向上のみならず、本業への還元という点でもさまざまな面での利点があることが分かります。

副業実施によって、本業では機会がない経験を得ることで、新しい視点や柔軟な発想を得て、本業に生かすことができているという好循環になっている人が多いと言えます。さらに、企業の人事担当者への調査の結果を見ると、従業員が副業実施によって得た経験を、本業に還元できていると感じている人事担当者が半数を超えています。副業で得た経験が本業への還元につながっていると、副業実施者・副業実施者の送り出し企業の双方が感じている傾向にあります。

## 従業員が兼業・副業を行って得た経験が 自社の主たる業務に還元できているか

(単一回答 n=853)



次に、満足度別に、悩みを聞いてくれたり、適切なアドバイスやサポートを提供してくれたりするような支援者がいるかどうかを見ました。不満群で支援者がいる人の割合は 37.2%だったのに対して、満足群では 73.5%でした。副業を実施する際には、慣れない環境での業務や時間管理など、さまざまな課題があります。その中で支援者がいると、結果的に満足度を高めることができる傾向にあります。

## 支援者の有無と副業の満足度

(副業実施経験がある人 単一回答)

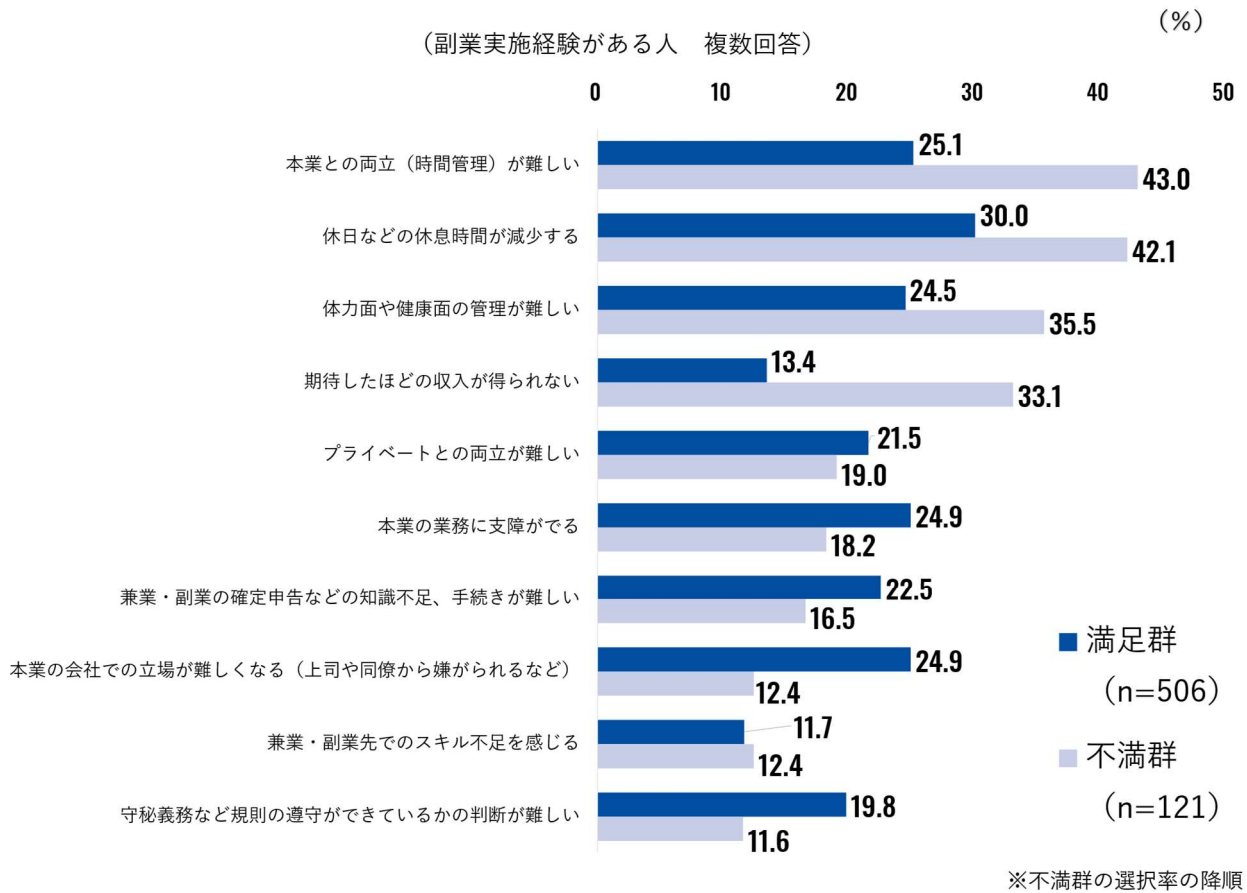
(%)



一方で、副業実施者経験がある人の中には満足度が低いと感じている人もいます。その主な原因として挙げられるのが、時間管理の難しさです。副業と本業を両立させるためには、効率的な時間管理が求められますが、それが難しいと感じる人が多いようです。

これらの課題を解決するためには、企業が積極的に環境整備をしていくことが大切になります。受け入れ企業も送り出し企業も、副業実施者が働きやすい環境を提供することが求められています。

## 兼業・副業を実施するにあたっての不安（上位10項目）



本件に関する  
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

### リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>